

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024 年 4 月 22 日

東京都知事 殿

病院名 JR 東京総合病院
開設者 喜勢 陽一

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030198 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

記入日：西暦 2024 年 4 月 22 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030198	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 JR東京総合病院 番号 030198
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ タダ マサ 氏名(姓) (名) 多田 雅史	役職 副長 (内線 8307) (直通電話(03)3320-2204) e-mail: 06jinji@jreast.co.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ ジェイアールトウキョウソコゴウヒョウイン JR東京総合病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)	〒 151-8528 (東京 都・道・府・県) 渋谷区代々木2-1-3 電話:(03)3320-2204 FAX:(03)3320-2265 二次医療圏 の名称:区西南部		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型・協力型記入)	フリガナ ヒガシニホリヨカテツドウカブシカイシャ ダイユウトリシマリヤクシヤチョウ セ ヨウイチ 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 喜勢 陽一		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)	〒 151-8528 (東京 都・道・府・県) 渋谷区代々木2-2-2 電話:(03)3320-2204 FAX:(03)3320-2265		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)	フリガナ ミヤリ タケシ 姓 名 宮入 剛		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)	http://www.jreast.co.jp/hospital/medical/rinsyo/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030198 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

		※		
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤： 140 名、非常勤（常勤換算）： 10.38 名 計（常勤換算）：150.38 名、医療法による医師の標準員数： 41.4 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A－3に記入	
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦2021年8月1日、告示番号：第17387号	
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関	
	救急専用診療（処置）室の有無		①. 有 （ 119.595 ）m ² 0. 無	
	救急医療の実績		前年度の件数： 7,586 件（うち診療時間外： 5,290 件） 1日平均件数： 20.7 件（うち診療時間外： 14.5 件） 救急車取扱件数： 5,081 件（うち診療時間外： 2,938 件）	
	診療時間外の勤務体制		医師： 7 名、看護師及び准看護師： 5 名	
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入	
	救急医療を提供している診療科		内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（1. 有 ①. 無） その他（ ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 399 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： 2 床、5. 療養： _____ 床	
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。	
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第 二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 8.3 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： 24.0 日、5. 療養： _____ 日	
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数： 189 件、異常分娩件数： 44 件	
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績： 6 回、今年度見込： 6 回 ※報告・届出病院の主催の	
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入	
	剖検数		前年度実績： 5 件、今年度見込： 10 件	
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室	①. 有 0. 無 （ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		①. 有（単身用： 24 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室		①. 有（ 2 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（ 42.50 ）m ²	
	医学図書数		国内図書： 1537 冊、国外図書： 200 冊	
	医学雑誌数		国内雑誌： 94 種類、国外雑誌： 119 種類	
	図書室の利用可能時間		00：00 ～ 23：59 24時間表記	
	文献データベース等の利用環境		Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）	
			利用可能時間（ 00：00 ～ 23：59 ）24時間表記	
医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030198
 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職		フリガナ ショウノウ モトツグ 氏名(姓) 正能 (名) 基嗣 役職 医事課長		
	診療に関する諸記録の管理方法		①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間		(5) 年間保存		
	診療録の保存方法		①. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)		
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況		①. 有(1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。		
	安全管理部門の設置状況		職員:専任(2)名、兼任(0)名 主な活動内容:例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療事故の原因究明及び対策、実施、マニュアル作成		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ ショウノウ モトツグ 氏名(姓) 正能 (名) 基嗣 役職 医事課長 対応時間(8:30 ~ 17:00)24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		①. 有 0. 無 指針の主な内容:個人及びシステムによるチェック機能を強化し、医療事故の病医に努め、医療の質の確保を図る。		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年(12)回 活動の主な内容:インシデント・アクシデントレポートの報告内容を把握し、医療安全管理及び社員教育に関すること等について調査審議するとともに、医療事故発生時における迅速な対応を行う。		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年(3)回 研修の主な内容:個人情報保護への取り組み、事例分析、医療に求められるコミュニケーションスキルの向上		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 医療事故防止マニュアルの充実			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了: 7 名 中断: 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)			前々年度	前年度	当該年度
	1 年	7	6	6	
	2 年	7	7	6	
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出		許可病床数(401)床÷10=(40)名		
	患者数から算出		年間入院患者数(7,323)人÷100=(73)名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士: 名(常勤: 名、非常勤: 名)			
		2. 作業療法士: 名(常勤: 名、非常勤: 名)			
		3. 臨床心理技術者: 名(常勤: 名、非常勤: 名)			
		9. その他の精神科技術職員: _____名(常勤: 名、非常勤: 名)			
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		1. 有 (評価実施機関名: (年 月 日)) ①. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 030198 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。	
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 () 名 2 年次研修医 () 名 男性 1 年次研修医 () 名 2 年次研修医 () 名	
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1. 有 ①. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分) 病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可)	
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 ①. 無) その他の補助 (具体的に :)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (①. 有 0. 無) 授乳スペース (①. 有 0. 無)	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		()	
	研修医のライフイベントの相談窓口		①. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無	
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント相談窓口) 窓口の専任担当 ①. 有 (名) 0. 無	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。				
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称 : JR東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム (内科コース) プログラム番号 : 030198008	
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次 : 4 名、2 年次 : 4 名	
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ スギモト コウイチ 氏名 (姓) (名) 杉本 耕一 所属 血液腫瘍内科 役職 副院長 電話 : (03) 3320 — 2204 F A X : (03) 3320 — 2265 e-mail : 06jinji@jreast.co.jp URL : http://www.jreast.co.jp/hospital/medical/rinsyo/	
			住所 〒 1 5 1 - 8 5 2 8 (東京 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県) 渋谷区代々木 2 - 1 - 3	
		担当部門	担当者氏名 フリガナ タダ マサシ 姓 多田 名 雅史	
		電話 : (03) 3320 — 2204 F A X : (03) 3320 — 2265		
		e-mail : 06jinji@jreast.co.jp URL : http://www.jreast.co.jp/hospital/medical/rinsyo/		
	資料請求先			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： J R 東京総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法		①．公募 ２．その他（具体的に： ）	
	応募必要書類 （複数選択可）		①．履歴書、②．卒業（見込み）証明書、③．成績証明書、 ④．健康診断書、 ⑤．その他（具体的に：出身大学による推薦状　講師以上・任意書式）	
	選考方法 （複数選択可）		①．面接 ②．筆記試験 その他（具体的に： ）	
	募集及び選考の時期		募集時期： ６ 月 １ 日頃から 選考時期： ８ 月 ２４ 日頃から	
	マッチング利用の有無		①．有 〇．無	
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊ 別紙３に記入 （作成年月日：西暦 ２０２２年 ４月 ２１日）	
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式Ａ－２に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式Ａ－２に記入			（プログラム責任者） フリガナ スギモト コウイチ	
	氏名（姓） 杉本		氏名（名） 耕一	
	所属 役職 血液腫瘍内科 副院長			
	（副プログラム責任者） １．有（ 名） ①．無			
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊ 別紙４に記入	
34. インターネットを用いた評価システム			①．有（ ・EPOC ・その他（ ） ） 〇．無	
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦 ２０２５年 ４月 １日	
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）	１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②．病院独自の処遇とする。		
	常勤・非常勤の別	１．常勤 ②．非常勤		
	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（２７３，０００円） 賞与／年（ 円）		二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（２７８，２００円） 賞与／年（ 円）
		時間外手当： ①．有 〇．無 休日手当 ： ①．有 〇．無		
	勤務時間	基本的な勤務時間（ ８：３０ ～ １７：３０ ）24時間表記 休憩時間（ ６０分 ）		
		時間外勤務の有無：①．有 〇．無		
	休暇	有給休暇（１年次： １０ 日、２年次： １１ 日） 夏季休暇（１．有 ①．無） 年末年始（１．有 ①．無） その他休暇（具体的に： ）		
		当直 回数（約 ４ 回／月）		
	研修医の宿舍（再掲）	①．有（単身用： ２４ 戸、世帯用： 戸） 〇．無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「〇」と記入してください。		
	研修医室（再掲）	①．有（ ２ 室） 〇．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。		
	社会保険・労働保険	公的医療保険（ 組合健康保険 ）		
		公的年金保険（ 厚生年金保険 ）		
労働者災害補償保険法の適用（①．有 〇．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有 ①．無）				
雇用保険（①．有 〇．無）				

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 030198 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。	
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 () 名 2 年次研修医 () 名 男性 1 年次研修医 () 名 2 年次研修医 () 名	
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1. 有 ①. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ～ 時 分) 病児保育 (1. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可)	
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 ①. 無) その他の補助 (具体的に :)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (①. 有 0. 無) 授乳スペース (①. 有 0. 無)	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		()	
	研修医のライフイベントの相談窓口		①. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無	
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント相談窓口) 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無	
	※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称 : JR東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム (外科コース) プログラム番号 : 030198007	
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次 : 2 名、2 年次 : 2 名	
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ ミウラ トシ 氏名 (姓) (名) 三浦 俊樹 所属 役職 整形外科 副院長 電話 : (03) 3320 — 2204 F A X : (03) 3320 — 2265 e-mail : 06jinji@jreast.co.jp URL : http://www.jreast.co.jp/hospital/medical/rinsyo/	
	資料請求先		住所 〒 1 5 1 - 8 5 2 8 (東京 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県) 渋谷区代々木 2 - 1 - 3 担当部門 担当者氏名 フリガナ タダ マサ 姓 多田 名 雅史 電話 : (03) 3320 — 2204 F A X : (03) 3320 — 2265 e-mail : 06jinji@jreast.co.jp URL : http://www.jreast.co.jp/hospital/medical/rinsyo/	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030198 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法		①. 公募 2. その他（具体的に：_____）	
	応募必要書類 （複数選択可）		①. 履歴書、②. 卒業（見込み）証明書、③. 成績証明書、 ④. 健康診断書、 ⑤. その他（具体的に：出身大学による推薦状 講師以上・任意書式）	
	選考方法 （複数選択可）		①. 面接 ②. 筆記試験 その他（具体的に：_____）	
	募集及び選考の時期		募集時期： 6 月 1 日頃から 選考時期： 8 月 24 日頃から	
	マッチング利用の有無		①. 有 0. 無	
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2022 年 4 月 21 日）	
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入			（プログラム責任者） フリガナ ミウ トナ	
		氏名（姓） 三浦	氏名（名） 俊樹	
		所属 整形外科	役職 副院長	
		（副プログラム責任者） 1. 有（ _____ 名） ①. 無		
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊ 別紙4に記入	
34. インターネットを用いた評価システム			①. 有（ ☒ ） ②. その他（ _____ ） 0. 無	
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦 2025 年 4 月 1 日	
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。	
	常勤・非常勤の別		1. 常勤 ②. 非常勤	
	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（273,000円） 賞与／年（ _____ 円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（278,200円） 賞与／年（ _____ 円）
			時間外手当： ①. 有 0. 無 休日手当： ①. 有 0. 無	
	勤務時間		基本的な勤務時間（ 8：30 ～ 17：30 ）24時間表記 休憩時間（ _____ 60分 _____ ）	
			時間外勤務の有無：①. 有 0. 無	
	休暇		有給休暇（1年次： 10 日、2年次： 11 日） 夏季休暇（1. 有 ①. 無） 年末年始（1. 有 ①. 無） その他休暇（具体的に：_____）	
	当直		回数（約 4 回／月）	
	研修医の宿舍（再掲）		①. 有（単身用： 24 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室（再掲）		①. 有（ 2 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険		公的医療保険（ _____ 組合健康保険 _____ ）	
		公的年金保険（ _____ 厚生年金保険 _____ ）		
		労働者災害補償保険法の適用（①. 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 ①. 無） 雇用保険（①. 有 0. 無）		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030198 臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年 1 回） その他（具体的に 特殊健康診断 年2回 ）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（①. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 ①. 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：①. 可 0. 否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 ①. 無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無（1. 有 ①. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分）
			病児保育（1. 有 0. 無） 夜間保育（1. 有 0. 無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 ①. 無）
			その他の補助（具体的に： ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所（①. 有 0. 無） 授乳スペース（①. 有 0. 無）
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（ 東日本旅客鉄道株式会社の保育所利用可能 ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		①. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（ ハラスメント相談窓口 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） ①. 無	
37. 研修医手帳 （基幹型記入）		①. 有 0. 無	
38. 連携状況 （基幹型記入）		* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- （1）「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- （2）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- （3）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- （4）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- （5）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- （6）当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- （1）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- （2）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- （3）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- （4）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- （5）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- （6）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- （7）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1 \div 2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（C P C）の実施状況」欄について
- （１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したC P Cの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- （２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。
- （２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。
- （２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で１年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。
- （２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。
- （４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「０．無」に○をすること。
- （６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「０．無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に○をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に○をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

様式 A－10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：J R 東京総合病院 （東京都）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
東京都	渋谷区	JR東京総合病院 (病院施設番号：030198)		東京都	区西南部		東京都立松沢病院 (病院施設番号：030200)							JR東京総合病院臨床研修プログラム 内科コース・外科コース	6
									東京都	区西南部		イワタクリニック (病院施設番号：)			
									東京都	区西南部		医療法人社団 友整形外科渋谷 (病院施設番号：178502)			
									東京都	区西南部		医療法人社団松健会 びす英クリニック (病院施設番号：)			
									東京都	区西南部		医療法人社団礼恵会 すび葉クリニック渋谷 (病院施設番号： 137262)			
									東京都	区西南部		医療法人社団慶緒会 平台緒方クリニック (病院施設番号： 178500)			
									東京都	区西南部		医療法人財団荘敬会 富ヶ谷みらいクリニック (病院施設番号：)			
									東京都	区西南部		医療法人社団拓研会 瀬内科循環器クリニック (病院施設番号：)			
									東京都	区西南部		医療法人社団正賀会 代々木山下医院 (病院施設番号： 030197)			
									東京都	区西南部		医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 (病院施設番号： 030199)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

7. 病院群の構成等

様式 A－10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：J R 東京総合病 （東京都）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
東京都	渋谷区	JR東京総合病院 (病院施設番号：030198)							東京都	区西南部		日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾 (病院施設番号：)		JR東京総合病院臨床研修プログラム 内科コース・外科コース	6

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 5 年度年度開催回数 8 回）

病院施設番号：030198 臨床研修病院の名称：J R 東京総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ スギモト コウイチ		J R 東京総合病院	副院長	研修管理委員長、プログラム責任者 研修実施責任者、 臨床研修指導医（指導医）
姓 杉本	名 耕一			
フリガナ ミウラ トシキ		J R 東京総合病院	副院長	研修管理委員会副委員長、プログラム責任者、 臨床研修指導医（指導医）
姓 三浦	名 俊樹			
フリガナ ミヤイリ タケシ		J R 東京総合病院	院長	
姓 宮入	名 剛			
フリガナ ホウジョウ サトシ		J R 東京総合病院	産婦人科 部長	臨床研修指導医
姓 北條	名 聡			
フリガナ フカザワ ユカ		J R 東京総合病院	糖尿病内分泌内科 主任医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 深澤	名 由香			
フリガナ オカモト マコト		J R 東京総合病院	消化器内科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 岡本	名 真			
フリガナ カナザワ タカミツ		J R 東京総合病院	消化器外科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 金沢	名 孝満			
フリガナ タケダ ケンジ		J R 東京総合病院	麻酔科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 武田	名 憲治			
フリガナ ウエダ シゲト		J R 東京総合病院	乳腺外科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 上田	名 重人			
フリガナ タカハシ マサオ		J R 東京総合病院	循環器内科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 高橋	名 政夫			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度年度開催回数8回）

病院施設番号：030198 臨床研修病院の名称：J R 東京総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ セキグチ ユカリ		J R 東京総合病院	脳神経内科 主任医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 関口	名 縁			
フリガナ ハギワラ キヨフミ		J R 東京総合病院	リウマチ・膠原病科 主任医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 萩原	名 清文			
フリガナ コウノ チヨコ		J R 東京総合病院	呼吸器内科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 河野	名 千代子			
フリガナ オオトモ リエ		J R 東京総合病院	臨床検査科 医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 大友	名 梨恵			
フリガナ セキイ ハジメ		J R 東京総合病院	救急科 部長	臨床研修指導医（指導医）
姓 関井	名 肇			
フリガナ イノウエ シュウジ		J R 東京総合病院	総合診療科 医長	臨床研修指導医（指導医）
姓 井上	名 秀二			
フリガナ クロウ ヒトミ		J R 東京総合病院	看護部長	
姓 黒鷗	名 ひとみ			
フリガナ イワイ ミノル		J R 東京総合病院	事務部長	
姓 岩井	名 稔			
フリガナ オダ ヒロヒサ		J R 東京総合病院	研修医代表	
姓 小田	名 祐久			
フリガナ ヤノ テツ		東京山手メディカルセンター	院長	臨床研修管理委員会部外委員
姓 矢野	名 哲			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度年度開催回数8回）

病院施設番号：030198 臨床研修病院の名称：JR東京総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ イワタ オサト		イワタクリニック	院長	研修実施責任者
姓 岩田	名 長人			
フリガナ マルイワ ヒロフミ		慶友整形外科渋谷	院長	研修実施責任者
姓 丸岩	名 博文			
フリガナ マツオ ヒデオ		えびす英クリニック	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医（指導医）
姓 松尾	名 英男			
フリガナ シマ キョテル		むすび葉クリニック	院長	研修実施責任者
姓 司馬	名 清輝			
フリガナ オガタ トシオ		南平台緒方クリニック	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医（指導医）
姓 緒方	名 寿夫			
フリガナ イノウエ ソウタロウ		富ヶ谷みらいクリニック	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医（指導医）
姓 井上	名 莊太郎			
フリガナ イワセ タカシ		岩瀬内科循環器科クリニック	院長	研修実施責任者
姓 岩瀬	名 孝			
フリガナ ヤマシタ ヒロマサ		代々木山下医院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医（指導医）
姓 山下	名 裕正			
フリガナ カガミハラ ヤスヒロ		原宿リハビリテーション病院	副院長	研修実施責任者
姓 鏡原	名 康裕			
フリガナ トモヤス ヒロシ		レクロス広尾	施設長	研修実施責任者
姓 友安	名 浩			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度年度開催回数8回）

病院施設番号：030198 臨床研修病院の名称：JR東京総合病院

氏名		所属	役職	備考
ヨシダ シゲユキ		都立松沢病院	都立松沢病院	研修実施責任者 臨床研修指導医（指導医）
姓 吉田	名 滋之			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

										臨床研修病院の名称： J R 東京総合病院						
										病院施設番号： 0 3 0 1 9 8						
区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		総合診療科			泌尿器科	リハ科	放射線科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	3,484	3 (7,586)	2,175	0	176	665 (233)		()	0	219			412	189	0	7,323
年間新外来患者数	7,820	2,220	3,949	9	579	1,299			105	270			861	52	225	17,389
1 日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	455.8 (267)	10.5 (267)	135.1 (267)	10.1 (267)	16.7 (267)	59.2 (267)		()	19.0 (267)	4.6 (267)		()	43.5 (267)	113.7 (267)	21.1 (267)	
平均在院日数	11.5	1.3	13.6		5.8	6.4				32.7			4.7	68.1		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	40 (14)	2 (1)	22 (9)	6 (2)	3 (1)	5 (1)		()	2 (2)	3 (1)		()	4 (1)	5 (1)	4 (1)	96 (34)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和7年度分)								臨床研修病院の名称： JR東京総合病院						
								病院施設番号： 030198						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
JR東京総合病院	内科	6	5	6	5	6	4	5	3	3	4	6	4	5
	救急部門	1	2	2	3	4	2	1	1	1	0	1	2	2
	麻酔科	0	0	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
	地域医療	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	0	1
	外科	3	3	1	1	0	2	2	3	3	4	4	4	3
	小児科	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0
	産婦人科	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1
東京大学附属病院	内科	5	4	3	3	2	3	3	6	6	5	4	3	2
	救急部門	1	1	1	0	0	1	2	1	1	2	2	1	1
	麻酔科	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1
	外科	2	2	2	3	4	3	3	1	1	0	0	0	1
	小児科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都立松沢病院	精神科	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和8年度分)								臨床研修病院の名称： JR東京総合病院						
								病院施設番号： 030198						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
JR東京総合病院	内科	6	5	6	5	6	4	5	3	3	4	6	4	5
	救急部門	1	2	2	3	4	2	1	1	1	0	1	2	2
	麻酔科	0	0	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
	地域医療	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	0	1
	外科	3	3	1	1	0	2	2	3	3	4	4	4	3
	小児科	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0
	産婦人科	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1
東京大学附属病院	内科	5	4	3	3	2	3	3	6	6	5	4	3	2
	救急部門	1	1	1	0	0	1	2	1	1	2	2	1	1
	麻酔科	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1
	外科	2	2	2	3	4	3	3	1	1	0	0	0	1
	小児科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都立松沢病院	精神科	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号 : 030198008

病院施設番号 : 030198

臨床研修病院の名称 : J R 東京総合病院

臨床研修病院群番号 :

臨床研修病院群名 : J R 東京総合病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	J R 東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム 内科コース			
2. 研修プログラムの特色	当院の特色として、ほぼ全分野の診療科が揃っており幅広い臨床経験が可能である。CommonDisease のみならず比較的稀な疾患や治療を受け持つ機会もあり、症例数も豊富である。 内科コースでは、将来各専門の内科医になるための基礎を身に着けることを目標とする。 内科として、トータル 40 週の研修期間を設けており、全身管理が十分に行える実力を養うために病棟研修を主体としている。 内科系診療科として、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、血液腫瘍内科、総合診療内科にて幅広い疾患を研修することができる。 急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行って継続的に経過を判断していく能力を涵養する。 臨床手技について、CV・PICC・ポートなど穿刺、縫合結紮の実技講習、BLS 講習や人工呼吸器の管理、各種エコー操作を学ぶ機会を設けている。また、心臓カテーテル、上部内視鏡、気管支鏡、骨髄穿刺などの経験が可能である。			
3. 臨床研修の目標の概要	当院での初期臨床研修においては、患者さまの病態生理に基づいて適切な治療方針を決定するという医師としての大原則を身につけるとともに、これを患者さまに説明しながら医療を進めて行くという基本姿勢を涵養する。また幅広いプライマリケアと 2 次救急レベルの対応能力を身につけ、各疾患の理解を深めて最善の全身管理ができるようになることを目標とする。			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2 年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目	内科	030198 J R 東京総合病院	40 週	週
	救急部門	030198 J R 東京総合病院	16 週	
	地域医療	178502 医療法人社団 慶友整形外科 渋谷		一般外来 2 週 在宅診療 0.5 週

分野		188789	おいかわ内科在宅クリニック		
		178515	医療法人社団潤心会 野地眼科クリニック		
		188803	平松レディースクリニック		
			えびす英クリニック		
		137262	むすび葉クリニック		
		036361	クリニック桜丘		
		178516	医療法人社団涼水会 木島小児科内科耳鼻咽喉科医院		
		036363	医療法人社団育心会 稲垣クリニック		
		116246	医療法人社団温光会 内藤病院		
		106044	かずえキッズクリニック		
		036364	医療法人社団正賀会 代々木山下医院		
		106043	医療法人社団松和会 望星新宿南口クリニック		
			日本赤十字社総合福祉 センターレクロス広尾		
	外科	030198	J R 東京総合病院	12 週	週
	小児科	030198	J R 東京総合病院	4 週	2 週
	産婦人科	030198	J R 東京総合病院	4 週	
	精神科	030200	東京都立松沢病院	4 週	
	一般外来			週	週
病院で 定めた 必修 科目	総合診療科	030198	J R 東京総合病院	4 週	2 週
	麻酔科	030198	J R 東京総合病院	4 週	週
				週	
				週	
選択 科目	耳鼻科	030198	J R 東京総合病院	12 週	
	眼科	030198	J R 東京総合病院		
	泌尿器科	030198	J R 東京総合病院		
	放射線科	030198	J R 東京総合病院		
	形成外科	030198	J R 東京総合病院		
	リハビリテーション科	030198	J R 東京総合病院		
	臨床検査科 (病理)	030198	J R 東京総合病院		
	皮膚科	030198	J R 東京総合病院		

	脳神経内科	030198	J R 東京総合病院		
	糖尿病・内分泌内科	030198	J R 東京総合病院		
	循環器内科	030198	J R 東京総合病院		
	呼吸器内科	030198	J R 東京総合病院		
	消化器内科	030198	J R 東京総合病院		
	血液腫瘍内科	030198	J R 東京総合病院		
	消化器外科	030198	J R 東京総合病院		
	呼吸器外科	030198	J R 東京総合病院		
	整形外科	030198	J R 東京総合病院		
	麻酔科	030198	J R 東京総合病院		
	救急科	030198	J R 東京総合病院		
	リウマチ膠原病内科	030198	J R 東京総合病院		
	乳腺外科	030198	J R 東京総合病院		
	腎臓内科	030198	J R 東京総合病院		
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 100 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 4 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 0 回 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科、地域医療※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること					

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号 : 030198007

病院施設番号 : 030198

臨床研修病院の名称 : JR東京総合病院

臨床研修病院群番号 :

臨床研修病院群名 : JR東京総合病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	JR東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム 外科コース
2. 研修プログラムの特色	当院の特色として、ほぼ全分野の診療科が揃っており幅広い臨床経験が可能である。CommonDisease のみならず比較的稀な疾患や治療を受け持つ機会もあり、症例数も豊富である。 外科コースでは外科系診療科を中心にローテートする。 外科として、24 週の必修科目、16 週の選択科目を加えると、計 40 週の研修期間を設けている。 外科系診療科に関心が高い研修医に対してより実践的な研修の機会を提供し、後期研修へのスムーズな移行を支援する。研修では急性期疾患患者を中心に手術時の縫合技術、周術期の診療計画・全身管理を行う能力を涵養する。 消化器外科研修では急性腹症の診断・治療、習熟度に応じてヘルニアや虫垂炎手術、腹腔鏡手術の経験が可能である。また癌の画像診断、治療法の理解を深め、重症例の周術期管理を学ぶことができる。 整形外科研修においては骨折・脱臼の整復、ギプス固定法、習熟度に応じて骨折手術、関節鏡手術を経験できる。マイクロサージャリーのシミュレーション実習も可能である。 呼吸器外科研修では胸腔ドレーンの留置および管理に習熟し、胸腔鏡を用いた肺癌、縦郭腫瘍の手術参加および周術期管理を行う。習熟度に応じて気胸手術を経験すること可能である。 乳腺外科研修では乳腺疾患の全般的な診断・治療に習熟するとともに、マンモグラフィーおよび超音波の読影を学ぶ。 脳神経外科では脳外科一般（脳血管疾患、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎疾患など）の診断、術前管理と術後管理を学ぶ。また、習熟度に応じて慢性硬膜下血腫の手術を経験することが可能である。 臨床手技について、CV・PICC・ポートなど穿刺、縫合結紮の実技講習、BLS 講習や人工呼吸器の管理、各種エコー操作を学ぶ機会を設けている。
3. 臨床研修の目標の概要	当院での初期臨床研修においては、患者さまの病態生理に基づいて適切な治療方針を決定するという医師としての大原則を身につけるとともに、これを患者さまに説明しながら医療を進めて行くという基本姿勢を涵養する。また幅広いプライマリケアと 2 次救急レベルの対応能力を身につけ、各疾患の理解を深めて最善の全身管理ができるようになることを目標とする。
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2 年」と記入してください。)
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）			
		* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030198	J R 東京総合病院	24 週	週
	救急部門	030198	J R 東京総合病院	16 週	
	地域医療	178502	医療法人社団 慶友整形外科渋谷	4 週	一般外来 2 週 在宅診療 0.5 週
		188789	おいかわ内科在宅クリニック		
		178515	医療法人社団潤心会 野地眼科クリニック		
		188803	平松レディースクリニック		
			えびす英クリニック		
		137262	むすび葉クリニック		
		036361	クリニック桜丘		
		178516	医療法人社団涼水会 木島小児科内科耳鼻咽喉科医院		
		036363	医療法人社団育心会 稲垣クリニック		
		116246	医療法人社団温光会 内藤病院		
		106044	かずえキッズクリニック		
		036364	医療法人社団正賀会 代々木山下医院		
		106043	医療法人社団松和会 望星新宿南口クリニック		
			日本赤十字社総合福祉センターレクロス広尾		
	外科	030198	J R 東京総合病院	24 週	週
	小児科	030198	J R 東京総合病院	4 週	2 週
	産婦人科	030198	J R 東京総合病院	4 週	
	精神科	030200	東京都立松沢病院	4 週	
	一般外来			週	週
病院で 定めた 必修 科目	総合診療科	030198	J R 東京総合病院	4 週	2 週
	麻酔科	030198	J R 東京総合病院	4 週	週
				週	
				週	

選択 科目	耳鼻科	030198	J R 東京総合病院	16 週	
	眼科	030198	J R 東京総合病院		
	泌尿器科	030198	J R 東京総合病院		
	放射線科	030198	J R 東京総合病院		
	形成外科	030198	J R 東京総合病院		
	リハビリテー ション科	030198	J R 東京総合病院		
	臨 床 検 査 科 (病理)	030198	J R 東京総合病院		
	皮膚科	030198	J R 東京総合病院		
	脳神経内科	030198	J R 東京総合病院		
	糖尿病・内分 泌内科	030198	J R 東京総合病院		
	循環器内科	030198	J R 東京総合病院		
	呼吸器内科	030198	J R 東京総合病院		
	消化器内科	030198	J R 東京総合病院		
	血液腫瘍内科	030198	J R 東京総合病院		
	消化器外科	030198	J R 東京総合病院		
	呼吸器外科	030198	J R 東京総合病院		
	整形外科	030198	J R 東京総合病院		
	麻酔科	030198	J R 東京総合病院		
	救急科	030198	J R 東京総合病院		
	リウマチ膠原病内 科	030198	J R 東京総合病院		
	乳腺外科	030198	J R 東京総合病院		
	腎臓内科	030198	J R 東京総合病院		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 100 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 4 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 0 回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科、小児科地域医療※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030198	臨床研修病院の名称：JR東京総合病院
	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：JR東京総合病院

6. 研修スケジュール (一年次) 二年次：いずれかに○														プログラム番号 030198008 030198007	
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。* 1														(No. 1)	
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 * 2	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週	
J R 東京総合病院 外 科 コ ー ス (030198)	内科	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1
	外科	2 2 2 2	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1
	救急	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0
J R 東京総合病院 内 科 コ ー ス (030198)	内科	5 5 5 5	1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	3 3 3 3	2 2 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1	1
	外科	0 0 0 0	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	2 2 2 2	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1
	救急	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	2 2 2 2	3 3 3 3	3 3 3 3	3
東京大学附属病院 (030186)	内科	5 5 5 5						5 5 5 5	5 5 5 5	4 4 4 4	3 3 3 3	2 2 2 2	1 1 1 1		
	外科		3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	2 2 2 2	1 1 1 1						1 1 1 1	2 2 2 2	2
	救急		2 2 2 2	1 1 1 1						1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号：030198

臨床研修病院の名称:JR東京総合病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名:JR東京総合病院

6. 研修スケジュール（一年次・ <u>二年次</u> ・いずれかに○）										プログラム番号 030198008 030198007									
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊ 1										(No. 1)									
病院又は施設の名称 （病院施設番号）	研修 分野 ＊ 2	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週					
ＪＲ東京総合病院 外科コース（030198）	外科	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1					
	産婦	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	救急	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	麻酔	1 1 1 1	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	小児	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	外来	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	選択	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1					
ＪＲ東京総合病院 内科コース（030198）	内科	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2	2 2 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	2 2 2 2					
	産婦	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0					
	救急	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	麻酔	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0					
	小児	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0					
	外来	1 1 0 0	0 0 0 0	1 1 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	0 0 0 0					
	選択	1 1 1 1	2 2 2 2	1 1 1 1	0 0 0 0	1 1 1 1	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2					
東京都立松沢病院 （030200）	精神	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
慶友整形外科渋谷 （178502）	地域	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					
	外来	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	1 1 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0					

[illegible]

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

(No. 1)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	杉本 耕一	JR東京総合病院	副院長	38	○		030198008 030198007	1 3 4
外科	三浦 俊樹	JR東京総合病院	副院長	32	○		030198008 030198007	1 3 4
内科	深澤 由香	JR東京総合病院	医長	23	○		030198008 030198007	4
内科	関口 縁	JR東京総合病院	主任医長	20	○		030198008 030198007	4
内科	萩原 清文	JR東京総合病院	主任医長	29	○		030198008 030198007	4
内科	河野 千代子	JR東京総合病院	部長	27	○		030198008 030198007	4
内科	高橋 政夫	JR東京総合病院	部長	25	○		030198008 030198007	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 2)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	杉下 和郎	JR東京総合病院	担当部長	33	○		030198008 030198007	4
内科	平野 良隆	JR東京総合病院	医長	13	○		030198008 030198007	4
内科	持田 高太朗	JR東京総合病院	医長	16	○		030198008 030198007	4
内科	岡本 真	JR東京総合病院	部長	35	○		030198008 030198007	4
内科	赤松 雅俊	JR東京総合病院	主任医長	31	○		030198008 030198007	4
内科	大前 知也	JR東京総合病院	医長	27	○		030198008 030198007	4
総合診療科	井上 秀二	JR東京総合病院	医長	22	○		030198008 030198007	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 3)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
麻酔科	今野 元之	JR東京総合病院	医長	20	○		030198008 030198007	4
小児科	松原 洋平	JR東京総合病院	医長	20	○		030198008 030198007	4
選択	平岡 祥幸	JR東京総合病院	部長	30	○		030198008 030198007	4
選択	大野 祐樹	JR東京総合病院	主任医長	24	○		030198008 030198007	4
外科	北野 健太郎	JR東京総合病院	担当部長	21	○		030198008 030198007	4
外科	荏田 真	JR東京総合病院	主任医長	28	○		030198008 030198007	4
外科	上田 重人	JR東京総合病院	部長	24	○		030198008 030198007	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 4)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
外科	金沢 孝満	JR東京総合病院	部長	31	○		030198008 030198007	4
外科	深谷 英世	JR東京総合病院	担当部長	31	○		030198008 030198007	4
麻酔科	八倉巻 徹	JR東京総合病院	医長	20	○		030198008 030198007	4
産婦人科	北條 智	JR東京総合病院	部長	35	×		030198008 030198007	
産婦人科	田中 美木	JR東京総合病院	主任医長	21	×		030198008 030198007	
産婦人科	松浦 宏美	JR東京総合病院	医長	13	○		030198008 030198007	4
選択	戸所 健	JR東京総合病院	医長	18	○		030198008 030198007	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
麻酔科	武田 憲治	JR東京総合病院	部長	26	○		030198008 030198007	4
救急部門	関井 肇	JR東京総合病院	部長	25	○		030198008 030198007	4
選択	石本 晋一	JR東京総合病院	部長	32	○		030198008 030198007	4
選択	小池 祐介	JR東京総合病院	部長	21	○		030198008 030198007	4
選択	上野 高明	JR東京総合病院	部長	26	○		030198008 030198007	4
病理 （CPC）	大友 梨恵	JR東京総合病院	医長	21	○		030198008 030198007	4
救急部門	浅子 英	JR東京総合病院	医長	13	×		030198008 030198007	

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
精神科	朝長 章子	JR東京総合病院	主任医長	31	○		030198008 030198007	4
精神科	伊藤 滋朗	JR東京総合病院	医長	26	○		030198008 030198007	4
内科	藤田 逸人	JR東京総合病院	医長	19	×		030198008 030198007	
内科	高橋 裕子	JR東京総合病院	医長	24	○		030198008 030198007	4
内科	網野 寛	JR東京総合病院	医長	14	×		030198008 030198007	
内科	奥田 慎也	JR東京総合病院	医長	23	○		030198008 030198007	4
内科	福岡 みずき	JR東京総合病院	医長	22	×		030198008 030198007	

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 7)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	梅澤 弘毅	JR東京総合病院	医長	16	×		030198008 030198007	
内科	田中 健介	JR東京総合病院	医長	19	×		030198008 030198007	
内科	川述 剛士	JR東京総合病院	医長	14	×		030198008 030198007	
外科	安達 淳一	JR東京総合病院	部長	35	○		030198008 030198007	4
外科	古峰 弘之	JR東京総合病院	部長	24	×		030198008 030198007	
外科	増田 晃一	JR東京総合病院	主任医長	23	○		030198008 030198007	4
外科	古川 聡一	JR東京総合病院	医長	16	○		030198008 030198007	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 8)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030198

臨床研修病院の名称： JR東京総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
外科	馬場 聡史	JR東京総合病院	医長	21	×		030198008 030198007	

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： J R 東京総合病院 （ 東京都 ）

研修プログラムの名称 J R 東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
JR東京総合病院	030198	基幹型	東京都	330時間	月１～４回程度 宿日直許可あり	対象となる臨床研修医研修医6名 年間330時間以内にて管理 平均年間240時間	適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

- ※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。
- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C－1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC－1水準しか適用されないことに留意すること。

<初期臨床研修プログラム内科コース>

【プログラムの名称】

本プログラムの名称を JR 東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム 内科コースとする。

1 【研修の特色】

当院の特色として、ほぼ全分野の診療科が揃っており幅広い臨床経験が可能である。CommonDisease のみならず比較的稀な疾患や治療を受け持つ機会もあり、症例数も豊富である。

内科コースでは、将来各専門の内科医になるための基礎を身に着けることを目標とする。

内科として、トータル 40 週の研修期間を設けており、全身管理が十分に行える実力を養うために病棟研修を主体としている。

内科系診療科として、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、血液腫瘍内科、総合診療内科にて幅広い疾患を研修することができる。

急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行って継続的に経過を判断していく能力を涵養する。

臨床手技について、CV・PICC・ポートなど穿刺、縫合結紮の実技講習、BLS 講習や人工呼吸器の管理、各種エコー操作を学ぶ機会を設けている。また、心臓カテーテル、上部内視鏡、気管支鏡、骨髄穿刺などの経験が可能である。

2 【研修の目標】

当院での初期臨床研修においては、患者さまの病態生理に基づいて適切な治療方針を決定するという医師としての大原則を身につけるとともに、これを患者さまに説明しながら医療を進めて行くという基本姿勢をかん養する。また幅広いプライマリケアと 2 次救急レベルの対応能力を身につけ、各疾患の理解を深めて最善の全身管理ができるようになることを目標とする。

3 【研修を行う分野・期間・臨床研修病院】

本プログラムは、医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令に沿い、当院臨床研修管理委員会下に管理され、研修期間は 2 年である。

※研修ローテーションはすべて 4 週毎で実施し、研修開始時から最初の 4 週間は志望診療科に基づき内科必修科目から委員会が指定し、病棟業務など研修開始にあたり最低限必要な知識等を身につける。

なお、コース及びローテーション順については、原則変更は認めない。

研修を行う分野	研修期間	研修を行う臨床研修病院
内科分野（必修）	40 週 （脳神経内科、糖尿病・内分泌内科/腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科/リウマチ・膠原病科の 6 部門を中心にローテートする。	J R 東京総合病院（基幹型）

救急部門（必修）	1年次に救急科8週、麻酔科4週、2年次に救急科4週、麻酔科4週をローテーションする。	J R 東京総合病院（基幹型）
地域医療（必修）	2年次に4週	渋谷区医師会プログラム（協力施設）
外科分野（必修）	12週	J R 東京総合病院（基幹型）
小児科（必修）	2年次に4週を必須	J R 東京総合病院（基幹型）
産婦人科（必修）	2年次に4週	J R 東京総合病院（基幹型）
精神科（必修）	2年次に4週	東京都立松沢病院（協力型）
一般外来（必修）	並行研修 2年次に総合診療科で2週、小児科で2週、地域医療研修2週を並行研修で行う。	J R 東京総合病院（基幹型） 及び渋谷区医師会プログラム（協力施設）
病院で定めた必修科目	2年次に総合診療科4週、麻酔科4週	J R 東京総合病院（基幹型）
選択科目（選択）	下記の診療科より12週を選択、ただし1診療科4週までとする。（必修の内科分野、外科分野の診療科に加えて脳神経外科・脳血管内治療科、救急科、麻酔科、臨床検査科(病理)、皮膚科、耳鼻科、眼科、泌尿器科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、産婦人科、精神科、小児科より選択。）	J R 東京総合病院（基幹型） または東京都立松沢病院（協力型）

4 【代表的なスケジュール例】※ローテーション順は固定とする（変更不可）

グループ（1）：1年次

1-4(週)	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
内科	救急	救急	麻酔	外科	外科	外科	内科	内科	内科	内科	内科	内科

グループ（2）：1年次

1-4(週)	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
内科	内科	内科	内科	内科	内科	救急	救急	麻酔	外科	外科	外科	内科

グループ（3）：2年次

1-4(週)	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
精神	総診	内科	内科	選択	内科	選択	麻酔	救急	地域	小児	産婦	内科

グループ（4）：2年次

1-4(週)	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
選択	内科	内科	内科	内科	麻酔	救急	地域	小児	産婦	精神	総診	内科

5 【その他の教育について】

研修プログラムの一環として以下の業務を行う。

- (1) 夜間および休日休診日当直：常勤医の指導下で研修医当直を行う。
- (2) 防火、防災、消防等の災害医療訓練に参加する。
- (3) 研修管理委員会の指定する講演会、講習会、研修会、オリエンテーションなどに参加する。
- (4) CPCへ参加する。

※研修管理委員会が指定する教育（この他指示があるものには原則参加すること）

オリエンテーション	・入社時オリエンテーション
各種委員会主催	・医療安全（虐待）セミナー ・感染対策セミナー ・緩和ケアセミナー ・サービス研修
厚生局主催	・保険診療についての集団指導講習会
その他	・CPC（要症例提示） ・その他各診療科主催の院内勉強会 等

6 【研修の評価方法と修了認定】※評価方法はPG-EPOCを用いる。

＜評価方法＞

- ① 研修医は自己評価及び経験した手技等について 4 週毎のローテーション終了時にオンライン卒後臨床研修評価システム（「PG-EPOC」）の入力を行うこと。レポートについては作成したものを PG-EPOC 上へアップロードし、指導医へ評価依頼を行うこととする。
- ② 指導医は、各週のローテーション終了後に PG-EPOC に研修中の評価を記録する。
- ③ 臨床研修管理委員会は、指導医、研修医を対象に目標達成の成果を評価する。なお、評価についてはスーパーバイザー及び指導医、医師以外の指導者からの意見を参考にし、各研修医の病歴概要、CPC 記録、各種カンファランス記録、院外学術集会発表記録、カンファランス、セミナーの出席率を基に評価を行う。

＜修了認定＞

研修医の到達度の評価に基づき、臨床研修管理委員会の承認を得て、病院長がプログラム修了証を発行する。

7 【指導体制】

＜臨床研修管理委員会＞

院長、プログラム責任者、協力型臨床研修病院及び協力施設の研修実施責任者、研修医代表、委員長の指名する院内委員、委員長の委嘱する院外委員及び事務の責任者で構成される。

臨床研修管理委員会委員長（プログラム責任者）： 副院長 杉本 耕一

臨床研修管理委員会副委員長（プログラム責任者）： 副院長 三浦 俊樹

事務責任者： 事務部長 岩井 稔

＜指導医＞

- <募集定員> 8名（1年次4名、2年次4名）
- <募集方法> 研修医マッチング制度利用。マッチング協会のスケジュールに沿って選考を行う
- <選考方法> 面接試験および筆記試験

10【各分野別カリキュラム】

別紙に記載

＜初期臨床研修プログラム外科コース＞

【プログラムの名称】

本プログラムの名称を JR 東京総合病院医師卒後臨床研修プログラム 外科コースとする。

1 【研修の特色】

当院の特色として、ほぼ全分野の診療科が揃っており幅広い臨床経験が可能である。CommonDisease のみならず比較的稀な疾患や治療を受け持つ機会もあり、症例数も豊富である。

外科コースでは外科系診療科を中心にローテートする。外科として、24 週の必修科目、16 週の選択科目を加えると、計 40 週の研修期間を設けている。外科系診療科に関心が高い研修医に対してより実践的な研修の機会を提供し、後期研修へのスムーズな移行を支援する。研修では急性期疾患患者を中心に手術時の縫合技術、周術期の診療計画・全身管理を行う能力を涵養する。

消化器外科研修では急性腹症の診断・治療、習熟度に応じてヘルニアや虫垂炎手術、腹腔鏡手術の経験が可能である。また癌の画像診断、治療法の理解を深め、重症例の周術期管理を学ぶことができる。整形外科研修においては骨折・脱臼の整復、ギプス固定法、習熟度に応じて骨折手術、関節鏡手術を経験できる。マイクロサージャリーのシミュレーション実習も可能である。

呼吸器外科研修では胸腔ドレーンの留置および管理に習熟し、胸腔鏡を用いた肺癌、縦郭腫瘍の手術参加および周術期管理を行う。習熟度に応じて気胸手術を経験すること可能である。

乳腺外科研修では乳腺疾患の全般的な診断・治療に習熟するとともに、マンモグラフィーおよび超音波の読影を学ぶ。

脳神経外科では脳外科一般（脳血管疾患、頭部外傷、脳腫瘍、脊椎疾患など）の診断、術前管理と術後管理を学ぶ。また、習熟度に応じて慢性硬膜下血腫の手術を経験することが可能である。

臨床手技について、CV・PICC・ポートなど穿刺、縫合結紮の実技講習、BLS 講習や人工呼吸器の管理、各種エコー操作を学ぶ機会を設けている。

2 【研修の目標】

当院での初期臨床研修においては、患者さまの病態生理に基づいて適切な治療方針を決定するという医師としての大原則を身につけるとともに、これを患者さまに説明しながら医療を進めて行くという基本姿勢をかん養する。また幅広いプライマリケアと 2 次救急レベルの対応能力を身につけ、各疾患の理解を深めて最善の全身管理ができるようになることを目標とする。

3 【研修を行う分野・期間・臨床研修病院】

本プログラムは、医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令に沿い、当院臨床研修管理委員会下に管理され、研修期間は 2 年である。

※研修ローテーションはすべて 4 週毎で実施し、研修開始時から最初の 4 週間は志望診療科に基づき外科必修科目から委員会が指定し、病棟業務など研修開始にあたり最低限必要な知識等を身につける。

なお、コース及びローテーション順については、原則変更は認めない。

研修を行う分野	研修期間	研修を行う臨床研修病院
内科分野（必修）	24 週 （脳神経内科、糖尿病・内分泌内科/腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科/リウマチ・膠原病科の 6 部門を中心にローテートする。）	J R 東京総合病院（基幹型）
救急部門（必修）	1 年次に救急科 8 週、麻酔科 4 週、2 年次に救急科 4 週、麻酔科 4 週をローテートする。	J R 東京総合病院（基幹型）
地域医療（必修）	2 年次に 4 週	渋谷区医師会プログラム（協力施設）
外科分野（必修）	24 週 （消化器外科、呼吸器外科/乳腺外科、整形外科の 3 部門を中心にローテートする。）	J R 東京総合病院（基幹型）
小児科（必修）	2 年次に 4 週を必須	J R 東京総合病院（基幹型）
産婦人科（必修）	2 年次に 4 週	J R 東京総合病院（基幹型）
精神科（必修）	2 年次に 4 週	東京都立松沢病院（協力型）
一般外来（必修）	並行研修 2 年次に総合診療科で 2 週、小児科で 2 週、地域医療研修 2 週を並行研修で行う。	J R 東京総合病院（基幹型） 及び渋谷区医師会プログラム（協力施設）
病院で定めた必修科目	2 年次に総合診療科 4 週、麻酔科 4 週	J R 東京総合病院（基幹型）
選択科目（選択）	下記の診療科より 16 週を選択、ただし 1 診療科 4 週までとする。（必修の内科分野、外科分野の診療科に加えて脳神経外科・脳血管内治療科、救急科、麻酔科、臨床検査科(病理)、皮膚科、耳鼻科、眼科、泌尿器科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、産婦人科、精神科、小児科より選択。）	J R 東京総合病院（基幹型） または東京都立松沢病院（協力型）

4 【代表的なスケジュール例】※ローテーション順は固定とする（変更不可）

グループ（1）：1 年次

1-4(週)	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
外科	救急	救急	麻酔	外科	外科	外科	内科	内科	内科	内科	内科	内科

グループ（2）：1 年次

1-4(週)	5-8	9-12	13-16	17-20	21-24	25-28	29-32	33-36	37-40	41-44	45-48	49-52
外科	内科	内科	内科	内科	内科	救急	救急	麻酔	外科	外科	外科	内科

グループ (3) : 2 年次

1-4(週) 5-8 9-12 13-16 17-20 21-24 25-28 29-32 33-36 37-40 41-44 45-48 49-52
精神 総診 選択 選択 外科 外科 外科 麻酔 救急 地域 小児 産婦 選択

グループ (4) : 2 年次

1-4(週) 5-8 9-12 13-16 17-20 21-24 25-28 29-32 33-36 37-40 41-44 45-48 49-52
選択 選択 外科 外科 外科 麻酔 救急 地域 小児 産婦 精神 総診 選択

5 【その他の教育について】

研修プログラムの一環として以下の業務を行う。

- (1) 夜間および休日休診日当直：常勤医の指導下で研修医当直を行う。
- (2) 防火、防災、消防等の災害医療訓練に参加する。
- (3) 研修管理委員会の指定する講演会、講習会、研修会、オリエンテーションなどに参加する。
- (4) C P C へ参加する。

※研修管理委員会が指定する教育（この他指示があるものには原則参加すること）

オリエンテーション	・入社時オリエンテーション
各種委員会主催	・医療安全（虐待）セミナー ・感染対策セミナー ・緩和ケアセミナー ・サービス研修
厚生局主催	・保険診療についての集団指導講習会
その他	・C P C（要症例提示） ・その他各診療科主催の院内勉強会 等

6 【研修の評価方法と修了認定】 ※評価方法はPG-EPOCを用いる。

＜評価方法＞

- ① 研修医は自己評価及び経験した手技等について 4 週毎のローテーション終了時にオンライン卒業臨床研修評価システム（「PG-EPOC」）の入力を行うこと。レポートについては作成したものを PG-EPOC 上へアップロードし、指導医へ評価依頼を行うこととする。
- ② 指導医は、各週のローテーション終了後に PG-EPOC に研修中の評価を記録する。
- ③ 臨床研修管理委員会は、指導医、研修医を対象に目標達成の成果を評価する。なお、評価についてはスーパーバイザー及び指導医、医師以外の指導者からの意見を参考にし、各研修医の病歴概要、CPC 記録、各種カンファレンス記録、院外学術集会発表記録、カンファレンス、セミナーの出席率を基に評価を行う。

＜修了認定＞

研修医の到達度の評価に基づき、臨床研修管理委員会の承認を得て、病院長がプログラム修了証を発行する。

7 【指導体制】

＜臨床研修管理委員会＞

院長、プログラム責任者、協力型臨床研修病院及び協力施設の研修実施責任者、研修医代表、委員長の指名する院内委員、委員長の委嘱する院外委員及び事務の責任者で構成される。

臨床研修管理委員会委員長（プログラム責任者）： 副院長 杉本 耕一

臨床研修管理委員会副委員長（プログラム責任者）： 副院長 三浦 俊樹

事務責任者： 事務部長 岩井 稔

＜指導医＞

指導医は卒後の臨床経験 7 年以上で、臨床研修指導医講習会を受講したプライマリケアの指導を充分行える能力と意欲を有する当院常勤医より、臨床研修管理委員会が任命する。

＜上級医＞

研修医より臨床経験の長い医師で、指導医の指示のもと研修医の教育を行う。

＜スーパーバイザー＞

各 1 年次研修医に対して、プログラム責任者の統括の下に編成された臨床研修スーパーバイザーチームの担当医が定期的面談を通して研修状況を横断的に把握・評価するとともに、精神面も含めたサポートを行う。

＜医師以外の指導者＞

各ローテーション中に医師以外の視点での指導・評価を行う。

8 【研修医の処遇】・研修期間中のアルバイトは禁止とします。

雇用区分	非常勤嘱託
勤務時間	① 8 時 30 分～17 時 00 分まで（休憩時間 60 分） ② 8 時 30 分～翌 1 時 00 分まで（休憩時間 120 分） 翌 1 時 00 分～翌 8 時 30 分まで（労働時間ではありません）
日直時間	8 時 30 分～翌 17 時 00 分まで（労働時間ではありません）
時間外勤務	研修医は、所属部科長の指示及び承認を受けた場合に限り時間外勤務及び休日勤務を行うものとする。
当直	1 年次の 3 週目以降より開始、月 4 回を目安とする。 研修医 1 年次及び 2 年次を 1 名ずつ その他、内科指導医または上級医 2 名、外科指導医または上級医 1 名、産科宿直医 1 名
給与	1 年次 月額 273,000 円 十 【諸手当】・宿日直手当・時間外勤務手当・通勤手当 2 年次 月額 278,200 円

休暇	年次有給休暇：雇い入れ日から6ヶ月間継続勤務後10日、その後1年毎に労働基準法に定める日数を加算し付与。
研修環境	寮：通勤時間（1時間半以上）等一定条件を満たしている場合に入寮できることがある。 専用スペース：年次ごとに医局有、個人専用のロッカー/机/PCを設置
各種保険	・社会保険制度完備（厚生年金、雇用保険、健康保険） ・医師賠償責任保険の加入は病院において加入、個人は任意
健康診断	・定期健康診断：年1回、特殊健康診断：年2回
外部活動	・学会等への参加は可能、費用の負担は無

9【募集について】※内科コースとの併願は出来ません。

＜募集定員＞ 4名（1年次2名、2年次2名）

＜募集方法＞ 研修医マッチング制度利用。マッチング協会のスケジュールに沿って選考を行う

＜選考方法＞ 面接試験および筆記試験

10【各分野別カリキュラム】

別紙に記載

JR 東京総合病院
卒後臨床研修プログラム
分野別研修カリキュラム

内科分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概念

内科研修においては、入院患者の一般的・全身的な診療とケア、及び一般診療で頻繁に関わる症候や内科疾患に対応するために、幅広い内科疾患に対する診療を行う。このような研修を通じて、臨床医学全般に必要な診断能力や内科的手技などの基本的な診療能力を幅広く修得する。

② 主治医・担当医体制による研修

内科研修の中で、内科疾患について理解を深めるとともに、その検査・治療とそれらに必要な手技・患者管理などについて学ぶ。診療において、主治医は各診療科の後期研修医以上が担当し、研修医は主に病棟患者の担当医として診療を行う。

各診療科の指導責任者は、担当患者の実態を把握したうえで研修医の担当患者を決定する。その際、研修医の経験症例に偏りが生じないように努める。

表1 当院における内科系必修診療科と指導責任者（2024年4月）

脳神経内科	関口 縁
呼吸器内科	河野 千代子
循環器内科	高橋 政夫
消化器内科	岡本 真
糖尿病・内分泌内科	深澤 由香
血液・腫瘍内科	杉本 耕一
リウマチ・膠原病科	萩原 清文

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

当院では、病院全体や各診療科でさまざまなカンファランスやセミナーが行われている。研修医は、それらに可能な限り参加する。

表2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜病院全体で開催＞ CPC、カンサーボード 医療安全セミナー、感染対策セミナー、抗菌薬適正使用セミナー コンプライアンス研修、サービス研修、情報セキュリティ研修など
＜各診療科で実施＞ 症例検討会等（各診療科術前・術後症例検討会、臨床病理検討会など）

外科分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概念

研修医は各診療科を4週単位で研修する。ただし、呼吸器外科と乳腺外科は並行して研修する。研修の到達目標として下記の達成を目指す。

1. 医療人として必要な基本的価値観および姿勢、態度を身につける
2. プライマリ・ケアに必要な基本的な診療能力を体得する
3. 外科的疾患についての病態生理を理解する
4. 外科的疾患の診断に必要な検査法、検査手技を理解し習熟する
5. 外科的疾患に対する手術手技を理解、習熟する
6. 術前術後の病態生理を理解し、周術期の全身管理を習熟する

具体的な行動目標及び経験目標の詳細については、厚生労働省策定「新たな臨床研修制度の在り方について」の到達目標のうち、外科ローテーション中に研修可能なものについて修得し、その自己評価を行い、さらに第3者の評価を受け入れ、診療にフィードバックする姿勢を身につける。

② 主治医・担当医体制による研修

研修医は、各診療分野チームの指導責任者のもと、診療チームの一員として病棟患者を受け持ち、担当医として病棟における診療の第一線で研修を行う。

表1 当院における外科系必修診療科と指導責任者（2024年4月）

整形外科	三浦 俊樹
乳腺外科	上田 重人
消化器外科	金沢 孝満
呼吸器外科	北野 健太郎
脳神経外科	安達 淳一

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

研修医は、病院全体や各診療科等で行われているカンファランスやセミナーに可能な限り参加する。

表2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜病院全体で開催＞ CPC、カンサーボード 医療安全セミナー、感染対策セミナー、抗菌薬適正使用セミナー コンプライアンス研修、サービス研修、情報セキュリティ研修など
＜各診療科で実施＞ 外科関連検討会等（各診療科術前・術後症例検討会、臨床病理検討会など）

救急部門分野

(1) 研修体制

① 研修の概要

1年次に救急科8週、麻酔科4週、2年次に救急科4週、麻酔科4週の研修を実施する。当院は二次救急医療機関であり、様々な急性疾患が頻度順に来院する利点を生かし、研修医が経験すべき症候、疾病・病態（下記）について適切な臨床推論プロセスを学んでいく。そして各病態に応じた初期対応を、十分な経験を積んだ専門医のもと学び体得していく。さらに緊急性の高い病態に対する初期救急対応の研修を含み、総合診療、一般内科、一般外科、小児科、地域医療にわたる全般的な臨床研修を網羅する。

麻酔科研修においては、全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔を通じて気管挿管を含む気道管理及び呼吸管理、急性期の輸液・輸血療法、循環管理法など全身管理について研修する。

臨床で修得した知識や技術を後述の各項目に当て嵌め、逐次に自己評価を行い、さらに第3者の評価を受け入れて、診療にフィードバックする姿勢を身に付ける。

② 主治医・担当医体制による研修

表1 当院における指導責任者（2024年4月）

救急科	関井 肇
麻酔科	武田 憲治

③ カンファレンスやセミナーなどへの参加

当院では、病院全体や各診療科でさまざまなカンファレンスやセミナーが行われている。研修医は、それらに可能な限り参加する。

表2 当院で定期的に行われているカンファレンスやセミナー

＜病院全体で開催＞ CPC、カンサーボード 医療安全セミナー、感染対策セミナー、抗菌薬適正使用セミナー コンプライアンス研修、サービス研修、情報セキュリティ研修など
＜各診療科で実施＞ 麻酔科・・・症例検討会等（麻酔科では毎手術時に術前症例検討会を行っている） 救急科・・・他科同様、院内で行われるカンファレンスやセミナーへの積極的な参加以外に、独自にモーニングカンファレンスやレクチャーを行う。

小児科分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概要

研修医は小児科を 4 週単位で研修する。小児の心理・社会的側面に配慮しつつ、新生児期から思春期までの各発達段階に応じた総合的な診療を行うために、幅広い小児科疾患に対する診療を行う病棟研修を含む。小児科研修期間中、院内感染対策、乳幼児健診、予防接種、虐待への対応等、基本的な診療において必要な分野・領域等に関する研修を含む。診療領域・職種横断的なチーム（感染制御、栄養サポート、退院支援等）の活動に参加することや、児童・思春期精神科領域（発達障害等）、薬剤耐性菌、ゲノム医療等、社会的要請の強い分野・領域等に関する研修を含む。

② 主治医・担当医体制による研修

研修医は、病棟患者の担当医として診療を行う。主治医は各診療科の後期研修医以上が担当する。各診療科の指導責任者は、担当患者の実態を把握したうえで研修医の担当患者を決定する。その際、研修医の経験症例に偏りが生じないように努める。

表 1 当院における内科系必修診療科と指導責任者（2024 年 4 月）

小児科	松原 洋平
-----	-------

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

当院では、病院全体や各診療科でさまざまなカンファランスやセミナーが行われている。研修医は、それらに可能な限り参加する。

表 2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜病院全体で開催＞ CPC、カンサーボード 医療安全セミナー、感染対策セミナー、抗菌薬適正使用セミナー コンプライアンス研修、サービス研修、情報セキュリティ研修など
＜各診療科で実施＞ 回診、カンファレンス、症例検討会、抄読会など

産婦人科分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概要

産婦人科において4週以上の産婦人科研修を実施する。

妊娠・出産に伴う産科疾患および内科合併症が妊娠へ及ぼす影響、また妊娠期間中に投薬可能な薬剤について幅広く知識を得る。また、婦人科良性疾患のみならず婦人科悪性疾患の治療適応を判断するために必要な諸検査を適切に計画する実際の産婦人科病棟および産婦人科外来で学んでいく。

② 主治医・担当医体制による研修

チーム医療に基づいて医療を提供しており、研修医は、指導責任者のもと、診療チームの一員として病棟患者を受け持ち、担当医として病棟における診療の第一線で研修を行う。

表1 当院における指導責任者（2024年4月）

産婦人科	北條 智
------	------

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

当院では、病院全体や各診療科でさまざまなカンファランスやセミナーが行われている。研修医は、それらに可能な限り参加する。

表2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜病院全体で開催＞ CPC、カンサーボード 医療安全セミナー、感染対策セミナー、抗菌薬適正使用セミナー コンプライアンス研修、サービス研修、情報セキュリティ研修など
＜各診療科で実施＞ 症例検討会等（各診療科術前・術後症例検討会、臨床病理検討会など）

精神科分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概要

東京都立松沢病院にて4週以上の精神科研修を実施する。

実際の臨床を通じ一般臨床医に必要な精神科的手技や診断能力などの基本診療能力を幅広く修得することで、精神疾患への偏見をなくし、精神症状を有する患者や患者全般に対しても、心理－社会的側面からも対応できることを目標とする。

② 主治医・担当医体制による研修

チーム医療に基づいて医療を提供しており、研修医は、指導責任者のもと、診療チームの一員として病棟患者を受け持ち、担当医として病棟における診療の第一線で研修を行う。

表1 協力病院における指導責任者（2024年4月）

精神科	齋藤 正彦
-----	-------

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

研修医は、研修先で指示された勉強会やセミナーには可能な限り参加すること。

表2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜各診療科で実施＞ 症例検討会等（各診療科術前・術後症例検討会、臨床病理検討会など）

地域医療分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概要

2年次にJ R仙台病院、渋谷区医師会プログラムのいずれかを選択し、4週以上の研修を行う。当院の位置する渋谷区または同グループ内で地域に根ざした医療を提供しているJ R仙台病院にて、地域の特性に即した医療の提供について理解を深める。

② 主治医・担当医体制による研修

表1 協力病院における指導責任者（2024年4月）

渋谷区医師会プログラム	
医療法人社団 慶友整形外科渋谷 おいかわ内科在宅クリニック 医療法人社団潤心会 野地眼科クリニック 平松レディースクリニック 医療法人社団松健会 えびす英クリニック 医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷 クリニック桜丘 医療法人社団涼水会 木島小児科内科耳鼻咽喉科医院 医療法人社団育心会 稲垣クリニック 医療法人社団温光会 内藤病院 かずえキッズクリニック 医療法人社団正賀会 代々木山下医院 医療法人社団松和会 望星新宿南口クリニック 日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾	丸岩 博文 及川 武史 野地 潤 平松 秀子 松尾 英男 大石 佳奈 山崎 隆夫 木島 太郎 稲垣 真一郎 内藤 誠二 川上 一恵 山下 裕正 高橋 俊雅 友安 浩

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

研修医は、研修先で指示された勉強会やセミナーには可能な限り参加すること。

表2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜各派遣先で実施（例）＞ 学術講習会、胃集検、胸部 X 線症例検討会、各種カンファランス など
--

一般外来分野

(1) 研修体制

① 研修の基本概要

地域医療研修及び総合診療科研修時に並行して4週の研修を行う。初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療を含む外来研修をとおして、症候・病態について適切な臨床推論プロセスを経て解決に導き頻度の高い慢性疾患の継続診療を行う。

② 主治医・担当医体制による研修

表1 協力病院における指導責任者（2024年4月）

総合診療科	井上 秀二
小児科	松原 洋平
渋谷区医師会プログラム	
医療法人社団 慶友整形外科渋谷 おいかわ内科在宅クリニック 医療法人社団潤心会 野地眼科クリニック 平松レディースクリニック 医療法人社団松健会 えびす英クリニック 医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷 クリニック桜丘 医療法人社団涼水会 木島小児科内科耳鼻咽喉科医院 医療法人社団育心会 稲垣クリニック 医療法人社団温光会 内藤病院 かずえキッズクリニック 医療法人社団正賀会 代々木山下医院 医療法人社団松和会 望星新宿南口クリニック 日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾	丸岩 博文 及川 武史 野地 潤 平松 秀子 松尾 英男 大石 佳奈 山崎 隆夫 木島 太郎 稲垣 真一郎 内藤 誠二 川上 一恵 山下 裕正 高橋 俊雅 友安 浩

③ カンファランスやセミナーなどへの参加

研修医は、研修先で指示された勉強会やセミナーには可能な限り参加すること。

表2 当院で定期的に行われているカンファランスやセミナー

＜各派遣先で実施（例）＞ 学術講習会、胃集検、胸部X線症例検討会、各種カンファランス など
--